

環境 みらい

2013



発行所

NPO法人環境みらい下関

〒751-0847 下関市古屋町一丁目18番1号

Tel (083) 252-7220

Fax (083) 252-7222

www.kankyo-mirai.jp

vol.116

contents

- 巻頭コラム
「JR長府駅リニューアルにおもう」
- 2月のリサイクル教室のご案内
- リサイクル教室のご紹介

monthly column

JR長府駅リニューアルに 思う

NPO 法人環境みらい下関
理事 石森英雄

年があらたまり旧年のカレンダー整理をしたところ、市内の広告会社の長府駅今昔の写真で、駅構内の見事な桜並木が載っている月めくりの一枚があるのに気が付き、平成13年9月1日発行の、斉藤哲雄著「下関駅100年」の一文を思い出した。それによると、明治34年に山陽鉄道が下関まで開通したのを記念に、長府駅構内に吉野桜200本あまりが植えられ、車窓の客を慰めた。



長府駅ホーム(明治末年頃)

長府駅(大正3年頃)

▲当時の長府駅構内



現在の長府駅構内

当時長府全町で豊永長吉、桂弥一氏の力で、約2万本の吉野桜が植えられ、桜花季には鉄道の外に、唐戸から関門汽船も臨時便をだし、市内及び北九州からも花見客を運んだ。功山寺や覚苑寺の桜を見終わった帰りに長府駅構内の桜を楽しんだ。

大正7年に列車運転上支障があるとのことで、町民に知らせることなくこの構内の桜が切り倒され、町民が激高するところとなったが、後に泣き寝入りとなったと新聞は伝えている。この桜樹の代わりではあるまいが、一樹の藤樹が駅前に、地域の方より寄付移植された。当時の新聞は「この名樹が桜樹のごとく切り取られぬよう、永久に保存したい」と報道している。しかし、この樹も藤棚の老朽化と不法駐輪の場所となり、この度の長府駅のリニューアルによる駅前広場の整理で、この由緒ある藤樹が取り払われたのはなんともさびしい限りである。



▲現在の長府駅構内

著者には、明治や大正の初めのころは長府駅構内の桜が下関の名所の一つだったという心床しい話は記録して残したいと記載されているが、心に止めておきたいことである。

2月のリサイクル教室のご案内

曜日	日時	講座名 講師名	講座内容
火	5日 10～15時	組みひも 津森 美智子	古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。 持参する物:参加料 400円・裂き布・毛糸など・昼食 定員:4名
	19日・26日 10～12時	着付け 津森 美智子	着物の着方、名古屋帯の着方。 持参する物:参加料 400円・着物・帯・その他小物 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	19日・26日 13～15時	和服のリサイクル 芳川 妙子	着物や帯で袋物やベストを作ります。 持参する物:参加料 400円・ゆかた・着物・帯・裁縫道具 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	5日 10～12時	廃食油で石けん作り 福井 和恵	ご家庭の廃食油を材料にして石けんを作ります。 持参する物:参加料 150円・エプロン 定員:20名
水	6日・20日 10～12時	布あそび 森田 芙路恵	古布で、今着たい服を作ります。 持参する物:参加料 400円・不用の布・裁縫道具 定員:15名
	20日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	持参する物:参加料 400円・30cmものさし・はさみ 洗濯バサミ 2個 綿で縦布(幅 10cm、長さ 60cm)40本 (幅 9cm、長さ 75cm)1本 (幅 2cm、長さ 35cm)4本 (幅 6cm、長さ 45cm)1本 定員:10名 2月22日と2日間できる方限定。
木	7日・21日 10～14時	古布で小物 永岡 ハツエ	古布で「季節の小物」を作ります。 持参する物:参加料400円(材料代別)・裁縫道具・手芸用ボンド・軽食 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	14日・28日 10～12時	パッチワーク 小笠原 典子	ミニタペストリー・バッグ・小物などを作ります。 持参する物:参加料 400円・裁縫道具・材料のハギレ 定員:10名
	14日・28日 13～15時	毛糸で小物 内田 チズ子	最初はあまり毛糸でタワシを作ります。 持参する物:参加料 400円・中細くらいの毛糸・カギ針 4～5号 定員:10名
	14日・28日 13～16時	表具 森 宏司	掛け軸や色紙掛けを作ります。 持参する物:参加料 400円(材料代別) 定員:5名(2日間参加できる方限定)
金	22日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	20日の続きから編みます。 2日間参加できる方限定。
	8日・22日 10～12時	裂き織り 小笠原 典子	木綿や絹の古着を裂いて、バッグ・インテリアグッズを作ります。 持参する物:参加料 600円・木綿や絹の古着・ハサミ 定員:8名 ※編み機持参者はこれ以上も可※参加料は同じです
	8日 10～15時	染色 新田 悦子	綿布製手提げ袋と綿糸をタマネギ皮で染めます。 持参する物:参加料:1,000円、エプロン、ゴム手袋、昼食 定員:8名
	22日 10～14時	エコクッキング 家根内 清美	持参する物:参加料:600円、エプロン、三角巾、筆記用具 定員:20名 場 所:山口合同ガス本社体験ハウスひまわり館 3階 下関市本町三丁目1-1 ☎番号 223-2111 申込み:2月15日まで
土	2日・16日 10～12時	布のリフォーム 高田 和代	古い着物や衣類を蘇らせ、自分だけの一着を作ります。 持参する物:参加料 400円・裁縫道具・解いた服や着物 定員:10名
日	10日・24日 10～12時	ガラス工芸 木下 照親	ガラスに砂を吹き付け削り、オリジナル絵柄作品を作ります。 持参する物:参加料:1回 400円・ガラス製のコップ・鉛筆 定員:10名

◎教室の申込み方法◎

2月1日(金)午前10時～電話受付を開始します

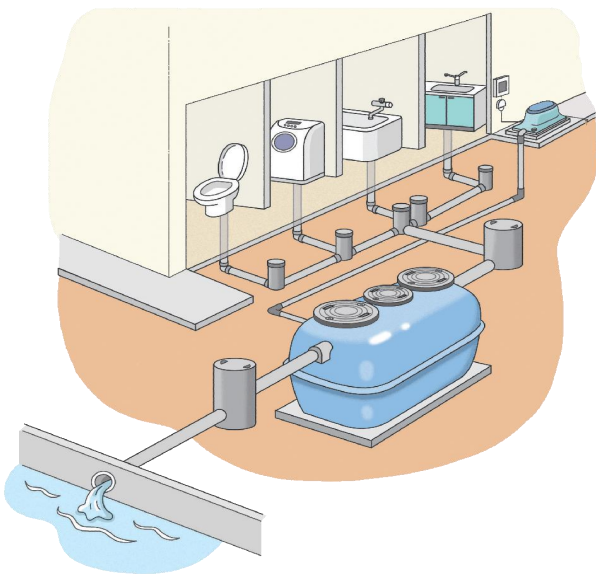
<申込みが少数の場合及び、講師の都合等により中止や延期になる場合がありますので、ご了承ください>

浄化槽と水環境

私たち人間の体は、成人の場合、約60%が水できています。「水は生命の源」という言葉があるように、私たち人間だけでなく、地球上のほとんどの生命は水がないと生存していくことができないのです。

このように、水は、人間や他の生物にとって最も身近で重要な存在ですが、その水が集まる川や海が汚染されれば、地球上のあらゆる生物に多大な影響を与えてしまうことは想像に難くありません。

私たちの家庭から排出されるし尿や生活排水は、浄化槽や下水処理場で処理されることによってきれいな水になり、川や海に流されています。特に「合併処理浄化槽」と呼ばれる浄化槽は、基本的には大規模な下水処理場と同じ仕組みで汚れた水を浄化する、自然にやさしい装置です。



し尿だけを処理する「単独処理浄化槽」は、処理されない生活排水が水域を汚染するため現在は設置が禁止されていますが、すべての浄化槽は、水中の微生物のはたらきを利用して、汚れた水をきれいにしています。

そのため、浄化槽の機能を十分に発揮させるためには、微生物が働きやすい環境を保ってやる必要があり、適正な維持管理が不可欠です。

浄化槽の規模や処理方式の如何にかかわらず、すべての浄化槽は年1回の法定検査を受けることが法律で義務付けられています。この検査は、山口県知事が指定した検査機関である社団法人山口県浄化槽協会が行っていますので、検査の案内がきましたら、忘れずに申し込んでください。

また、浄化槽の機能を維持していくためには、定期的に機器類の調整を行ったり、消毒薬を補充する必要があります。「浄化槽管理士」の資格を有する専門の「浄化槽保守点検登録業者」に依頼してください。

さらに、浄化槽には、少しずつ水に溶けない固形物や汚泥が溜まっています。これをそのまま放置しておくと、悪臭や水質悪化の原因になります。そのため、年1回以上は溜まった汚泥を清掃する必要がありますので、下関市の「浄化槽清掃許可業者」に依頼してください。



適正に浄化槽を維持管理することで初めて、浄化槽のもつ優れた機能が発揮されます。それによって、快適な生活環境が守られ、かけがえのない地球の水環境を守ることに繋がっていくのです。

(2013.1.17)

リサイクル教室のご紹介

NPO法人環境みらい下関が行っているリサイクル教室について、今月号より順次紹介させていただきます。

着付け教室

「着物には難しいルールがあって面倒」

という声をよく聞きます。

でも着物の形はおおよそきまっており、最低限のルールさえ守れば流行に左右されない便利な衣装といえます。

また着物に合わせる帯、帯揚げ、帯締めなどの素材、色あわせ等によって同じ着物が全く違った趣を持つ衣装に変わります。工夫次第で個性的な着こなしが楽しめるという点も大きな魅力の一つです。

日本文化の代表とも言える着物、家庭で眠っている着物を着てみましょう。季節に合わせて、教室の着物も変わりますし、もっと手軽に着たり着せたりしてみませんか？

「着る」「着せる」を貴方の目的やペースに応じてご指導します。



日時: 毎月第2、第4火曜日
(週が変更になる場合もあります)

時間: 10時～12時

参加料: 1ヶ月(2回)400円

持産物: 着物、帯、その他小物

定員: 10名

講師: 津森美智子

備考: 2日間参加できるかた



ボランティアの募集をしています

今年度より、下関市生涯学習まちづくり「出前講座」に「207 環境教室」として「牛乳パックでハガキ作り(紙すき)、新聞紙などでエコバック作りを体験し、ごみの減量を考えます。」の内容で登録いたしました。

登録後、この講座に多くのお問い合わせ等(当法人に)頂いており、今後もご要望にお応えするためにも、一緒に活動頂けるボランティアの方の力が必要です。

ご希望の方は、NPO法人環境みらい下関(Tel.083-252-7220)へお問い合わせください。



しものせき環境みらい館

は、

「見て」「聞いて」「触れて」「楽しみながら」

リサイクルの体験・学習ができます。



しものせき環境みらい館 ご利用案内

- 開館時間 10:00～17:00まで
 - 休館日 月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
- サンデンバス停「垢田」「稗田中央」より徒歩 約5分
電話(083)252-7220 FAX(083)252-7222
<http://www.kankyo-mirai.jp> eco@kankyo-mirai.jp

